

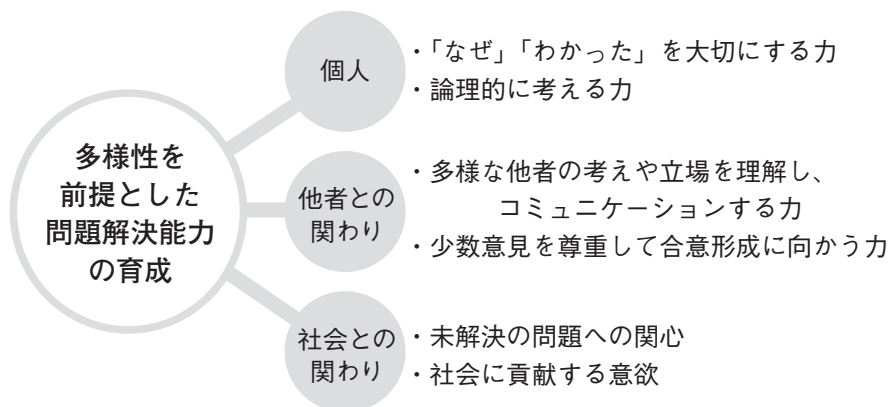
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 94	小学校	国語	国語	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 403	みんなと学ぶ	小学校 国語	四年 上
	国語 404	みんなと学ぶ	小学校 国語	四年 下

I 編修の基本方針

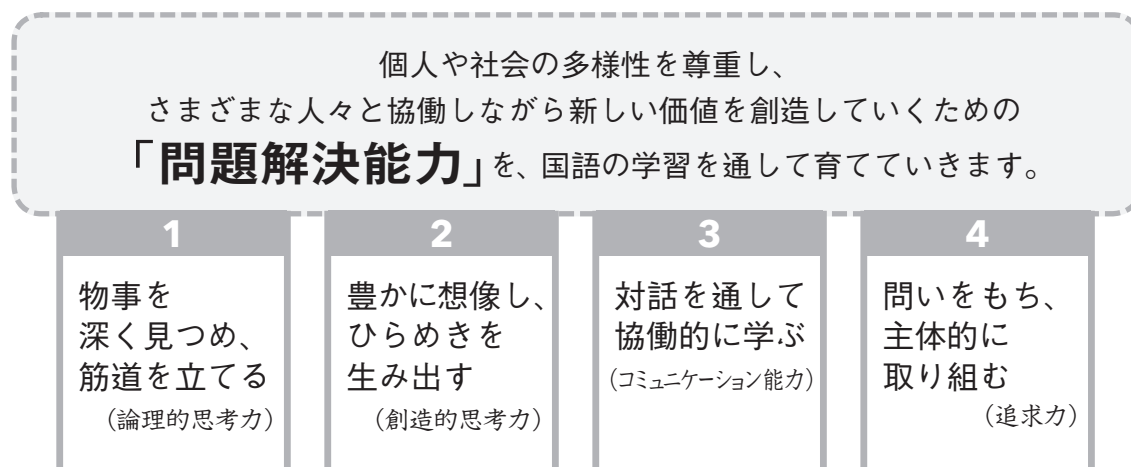
私たちは、共通の編修理念に基づき、育てたい資質・能力を以下のようにとらえました。



教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、この教科書では上記の理念を取り入れ、次のような基本方針を掲げました。

「言葉と深く関わり、新しい世界を切りひらく」

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちはこれからの社会を生きるための「確かな言葉の力」を身につけることができます。言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に挑戦する子どもたち。そのような姿を思い描き、教科書を編修しました。



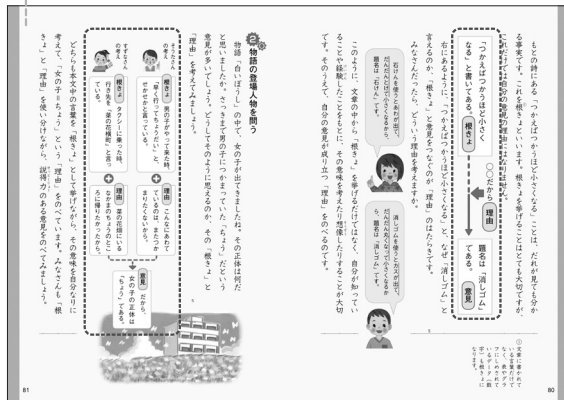
この教科書では、問題解決能力を育成すべく、その支えとなる力を4つに分けて整理しました。

1 物事を深く見詰め、筋道を立てる

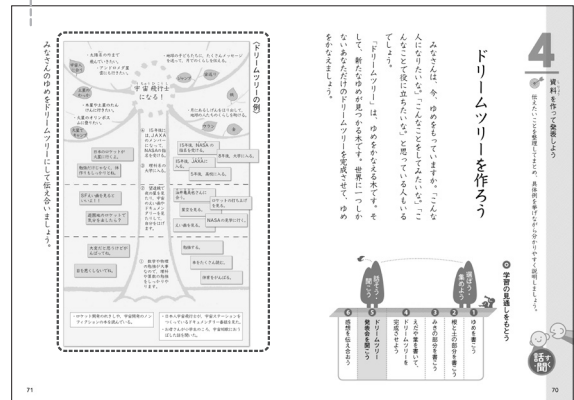
対象を言葉で理解・表現し、物事を論理的に解釈する力を育成することで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしています。また、思考操作の方法をメタ認知することにより考えの深化を促し、真理を求める態度や自主及び自律の精神を養います。

身近なテーマや物語、絵画などを根拠にして、自分の知識や経験をもとに価値判断し、理由づけをしていきます。論理的に思考して意見を述べる方法をメタ認知することで、自己の学びを実感することができます。

自分の夢をかなえる「ドリームツリー」を完成させるため、根元、幹、枝葉の順に整理してまとめていきます。ツリーを提示しながら筋道立てて述べることで、相手に分かりやすく伝えられることを学びます。



「自分の意見を組み立てて説明しよう」（上巻P80・81）



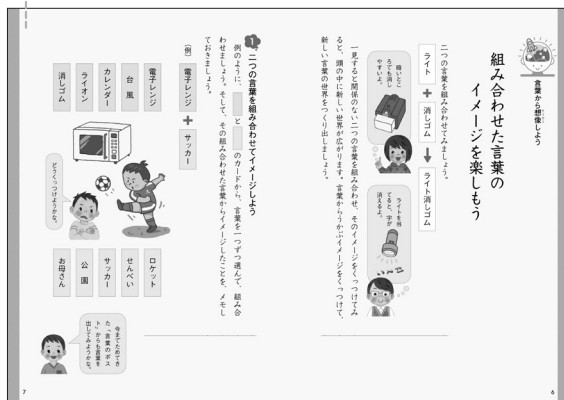
「ドリームツリーを作ろう」（下巻P70・71）

2 豊かに想像し、ひらめきを生み出す

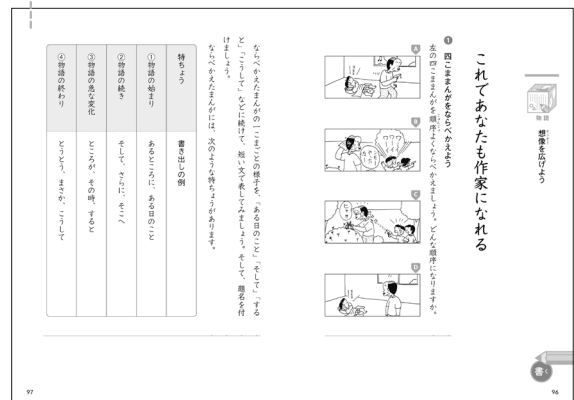
豊かに想像したり、思考を再構成して捉え直したりすることでその能力を伸ばし、情操を豊かにするとともに、既有的認識にとらわれない新しい価値を生み出すための創造性を培います。

二つの言葉を組み合わせ、その言葉から浮かぶイメージを楽しみます。遊び心をもって発想力を発動し、言葉への新しい気づきを促します。また、一見結びつかないものをつなげる思考活動により、新しい知を生み出す創造力を育てます。

4コマまんがを題材に、起承転結の構造をとらえ、出来事の様子を想像して物語を書く活動を行います。人物が思っていることや会話、行動を想像して、表現を工夫して言語化していくことで、豊かな知性や感性を育てます。



「組み合わせた言葉のイメージを楽しもう」（下巻P6・7）

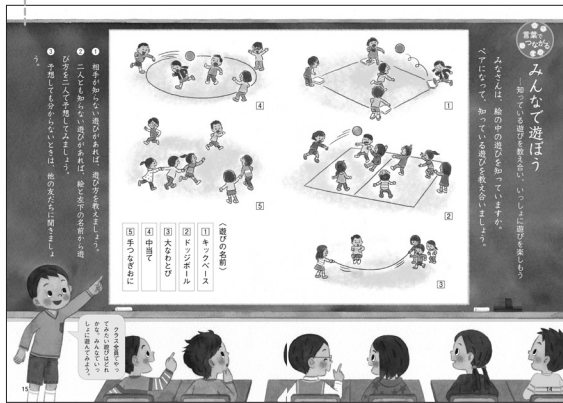


「これであなたも作家になれる」（下巻P96・97）

3 対話を通して協働的に学ぶ

考えや立場の多様性を理解し、言葉を介して協働するための学習基盤を作っていくことで、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参加する態度を養います。また、活動目的を明確にし、互恵的な集団思考の有用性を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

絵をもとに知っている遊びを教え合う活動を通して、話し合いのルールを学びます。また、思いやりをもった接し方を意識することで、学習集団に大切な親和的な雰囲気を作ります。



「みんなで遊ぼう」(上巻 P14・15)

子どもにとって身近な課題である通学路の「安全マップ」作りを題材に、グループでの話し合い活動を行います。課題解決に向かって意見交換をしていく過程で、集団思考の在り方を学びます。



「安全マップを作って話し合おう」(上巻 P124・125)

4 問いをもち、主体的に取り組む

自ら課題を発見し、それを解決していくためのプロセスを構築する力を育てていくことで自主及び自律の精神を養います。また、積極的に課題に関わり、考え、判断し追求していくことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。

筆者が「落ち枝現象」に対する疑問をもち、それを解き明かすために調査を重ねていく様子を、その思考過程を追いつながりながら読んでいきます。筆者の視点を追って読むことで、探究的な思考の在り方を学びます。



「『落ち葉』ではなく『落ちえだ』」(下巻 P24・25)

物語のおもしろさを見つけ、友達と対話しながら読み深めていきます。叙述に即して、自発的に問いをつくることで真の理解を促し、言語生活を豊かにしていきます。



「世界でいちばんやかましい音」(下巻 P118・119)

II 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 春のうた	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
本編 漢字辞典の使い方 接続語 漢字のいろいろな読み方・送りがな 漢字の広場 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構成や漢字など、言葉の特徴や使い方について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました(第1号)。 言葉や文に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P34～35 P112～113 P114～115 P46 P47・86 ・130
自分の意見を組み立てて説明しよう	説得力のある意見を述べるために、自分の意見を支える理由と根拠を分けて整理する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P78～83
短歌 きせつのはより：春・夏 物語のみかをしょうかいしよう ／ポレポレ	短歌をよんだり、言葉から季節を感じたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。 物語の魅力を紹介するために、自立的に読書活動を進めていくことで、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P118～123 P32～34・ P64～65 P87～103
見つけたよ、友達の良いところ メモを取りながら聞こう こんなに成長したよ	話したり聞き合ったりする活動を通してお互いのよさや特徴を知ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました(第3号)。 大事なことに耳を傾け注意深く聞き取る活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。	P26～27 P52～53 P110～111
みんなで遊ぼう 言葉のいろいろな表情 安全マップを作って話し合おう	友達と協力して行う活動や言葉の伝わり方を確かめる活動、問題解決に向かって話し合う活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第3号)。	P14～15 P84～85 P124～129
新聞を知ろう、作ろう 見学したことを新聞にまとめよう 文化のちがいを調べよう 文章のまとめりと分かりやすさ	見学して取材したり、調べたことを比較・分類したりして、まとめたことを文章にする活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P48～51 P74～77 P116～117
お礼状を書こう	手紙の書き方のルールに従って、伝えたい思いを書く活動を通し、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第2・3号)。	P62～63
白いぼうし かぼちゃのつらが／ふしぎ	物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました(第1号)。	P16～25 P106～109
アメンボはにん者か 手で食べる、はして食べる	身の回りの生き物や、海外の食文化を題材にした説明文を読むことで、生命を尊び、自然を大切にすることを養うとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました(第4・5号)。	P36～45 P66～73
「百科事典」を使って、調べることを決めよう	事典を使って調べる活動を通し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました(第1号)。	P34～35
巻末 地いきの図書館を利用しよう 一つの花 言葉の部屋	図書館の利用の仕方や探している本への辿り着き方を学んだり、身近な言葉について自覚的に見つけたりすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました(第1・3号)。 戦争や平和をテーマにした物語を読むことで、生命を尊び、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました(第4・5号)。	P136～137 P140～145 P158

【下巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 水平線	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました(第1号)。	表紙2～P1
本編 熟語の組み合わせと読み方 形が変わる言葉 類義語 組み合わせた言葉のイメージを楽しもう 漢字の広場1・2 言葉をつないで文を作ろう①・②・③	文の構成や漢字など、言葉の特徴や使い方について学習することで、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました(第1号)。 組み合わせた言葉から想像を広げていく活動を通して、言語感覚を豊かにし創造性を培えるようにしました(第2号)。 言葉に着目して自覚的に学ぶことで、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P34～37 P92～93 P94～95 P6～8 P40・122 P41・87 ・P123
ことわざ・故事成語 日本各地の短歌 きせつのはより：秋・冬 生活の中に生きている読書	昔から日常的に使われてきたことわざ・故事成語について理解したり、日本人が大切にしてきた季節を感じる言葉や、地域にゆかりのある短歌に触れたりすることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました(第5号)。 読書の意義を学び、多読へ向かうことで、豊かな情操と道徳心を育てるようにしました(第1号)。	P20～23 P62～63 P18～19・ P68～69 P64～65

ドリームツリーを作ろう 感謝の気持ちを話そう	友達の前で自分の夢を発表したり、感謝の気持ちをスピーチしたりすることで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました(第2・3号)。	P70～77 P120～121
こんなアイデア、どうかな	誰もが暮らしやすい社会になるためのアイデアを考える活動を通し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました(第3号)。	P92～95
クラブのしょうかいチラシを作ろう ／身の回りのメディアを研究しよう	紹介するためのキャッチコピーや包装紙のデザインを題材にした学習を通して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしました(第2号)。	P28～33
心に残っていること これであなたも作家になれる	詩や物語の創作活動を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにしました(第2号)。	P38～39 P96～101
四年生をふり返って	一年間の学びをふり返り、今後の学習に生かそうとすることで、主体的に社会の形成をし、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号)。	P126～128
ごんぎつね 世界でいちばんやかましい音 ぼくがここに	物語や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました(第1号)。	P42～61 P102～119 P124～125
空飛ぶふろしき ムササビ ／ムササビがくらす森 「落ち葉」ではなく「落ちえだ」 さわっておどろく	動物の体の仕組みや森林などの自然環境を題材にした説明文を読むことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました(第4号)。	P9～17 P24～27 P78～86
巻末 だまし絵で分かる脳の仕組み	錯覚画像と文章をあわせて読むことで、脳の働きや特徴を知り、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)。	P134～139

Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、以下の工夫をしました。

● 伝統と文化を尊重し、郷土愛と異文化を理解する態度を養います。

- ・昔から日常的に使われてきたことわざや故事成語を知ることで、日本の文化に親しめるよう配慮しています。
- ・日本人が育んできた季節を感じる言葉や暮らしに関わる言葉を扱い、日本の文化や地域の文化を尊重する態度を養います。

● 働くことの尊さや家族の役割に気付くよう配慮しています。

- ・社会科見学で取材したことを新聞にまとめる活動や、将来の夢に向かって励むことを発表する活動を通して、働くことの意義を見だし、夢に向かって努力する心を育てます。また、働く家族への感謝の気持ちが芽生えるようにしています。

● 自然を大切にすることを育てます。

- ・樹木や動物をテーマにした説明文教材を掲載し、自然や環境保護への意識をもてるようにしています。

● インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインに配慮しています。

- ・視覚障害者からの視点で書かれた説明文教材を掲載し、身の回りのユニバーサルデザインについて考えられるようにしています。
- ・文字の大きさ、書体(書き文字に近いフォント)、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫し、判読しやすくしています。

● 読書習慣を身に付け、生涯にわたって本に親しむ態度を育てます。

- ・本を見つけるための手掛かりとなるよう図書紹介のページを設け、読書への意欲と興味を喚起するようにしています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 94	小学校	国語	国語	4
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 403	みんなと学ぶ 小学校 国語 四年 上		
	国語 404	みんなと学ぶ 小学校 国語 四年 下		

I 編修上特に意を用いた点や特色

○編修の基本方針

「深く考え、共感し、しなやかに生きる」

グローバル化が進展し先の読めない社会の中で、予測を超えた課題に向き合い、これからの未来をどう切りひらいていくか。

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちは社会を生きるための確かな言葉の力を身につけることができます。

言葉の力は生きる力そのものです。みんなとともに一步一步、言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に柔軟に対応する子どもたち。そのような姿を思い描き、子どもたちの明るい未来へのスプリングボードとなる教科書をめざしました。

【めざす子ども像】

自ら学び、追求し、深く考え、自分の言葉で発信する姿。

互いの立場や考えを尊重し、対象を言葉で伝え合うことで自分の考えを確かめ、新たな価値の発見や考えの更新を実感する姿。

必要な情報を見極め、課題解決に向けて意思決定や行動選択のできる姿。



日本人としての感性や情緒を育むとともに、さまざまな文化や考え方の多様性を理解し、他者と協働していく姿。

【みんなと学ぶ 小学校 国語の特色】

何を学ぶか

どのように学ぶか

何ができるようになるか

つきたい力を明確にし、対象と主体的に関わり、言葉による見方や考え方を働かせることで、確かな言葉の使い手となる能力を育てます。

特色 ① 確かな言語能力を育成します。

特色 ② 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

特色 ③ 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

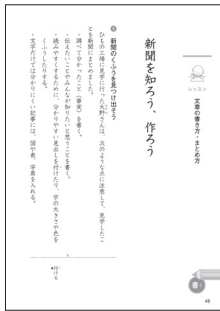
特色 ④ 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

特色 1

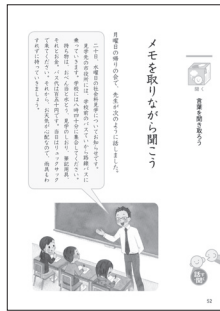
確かな言語能力を育成します。

言葉に着目し言葉で考える機会を設けることで、国語の基礎・基本を積み上げていきます。また、教材どうしを関連させることで系統性をもたせ、学習を繰り返しながら理解を深め、資質・能力の定着を図ります。

- 必要な技能を押さえるため、連続させた単元配列にすることで、基礎的な国語の力を効果的につけていきます。学習を少しずつ積み上げ、概念を理解していく中で、深い学びの土台を築いていきます。



「新聞を知ろう、作ろう」
(上巻 P48)

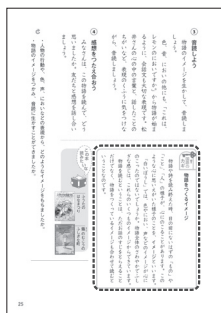


「メモを取りながら聞こう」
(上巻 P52)

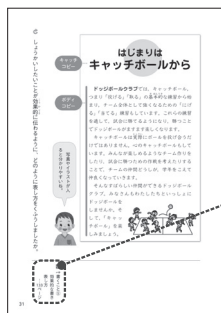


「見学したことを新聞にまとめよう」
(上巻 P54・55)

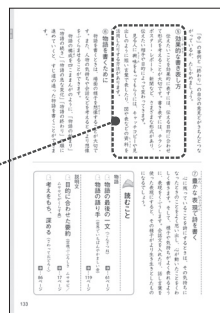
- 学習に必要な技能や、言葉による見方や考え方を働かせて言語活動を進めていくためのヒントをまとめています。〈読むこと〉では「学習のてびき」に、〈話すこと・聞くこと〉や〈書くこと〉では巻末資料にリンクさせ提示しています。これらが深い学びの“鍵”となります。



「白いぼうし」(上巻 P25)



「クラブのしょうかいチラシを作ろう」(下巻 P31)



「国語のカギ」(下巻 P133)

特色 2

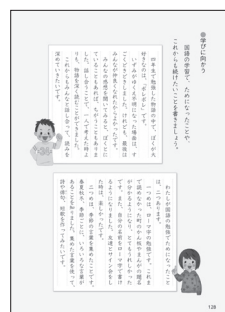
見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

学年の最初に、その学年で付けたい力を一覧で示し、1年間の学習内容を確認できるようにしています。また、学年末には、1年間の学習をふり返り、達成感を味わわせ今後の学びへの意欲づけができるようにしています。

- 上巻冒頭での、両観音開きのダイナミックな紙面と上質なイラストが、国語学習の世界へ誘います。下巻の最後で自身の学びをふり返り、自分の思いや考えを書きます。



「四年生でつきたい力」(上巻 P7～10)



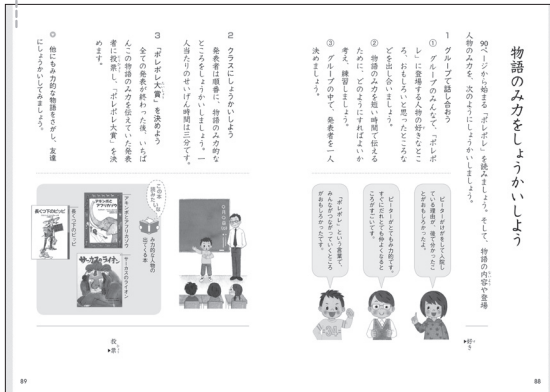
「四年生をふり返って」
(下巻 P128)

特色 3

学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

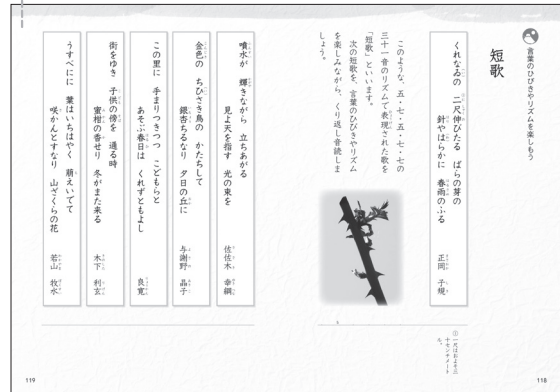
子どもたちが「やってみたい!」と色めき立つような、魅力的な言語活動を設定しています。また、言葉が醸し出す味わいを感覚的にとらえ、豊かに想像することで言語感覚を磨けるようにしています。

物語の魅力を紹介するために、友達と交流しながら読み進めていきます。自発的な活動を通し、自ら学び方を獲得することで、次の学習につなげるための意欲を喚起します。



「物語のみ力をしようかいしよう」(上巻 P88・89)

短歌を言葉の響きやリズムを楽しみながら声に出してよみます。日本人に連綿と受け継がれてきた伝統的な韻律美を味わい、日本語の表現に親しむことができるようにしています。



「短歌」(上巻 P118・119)

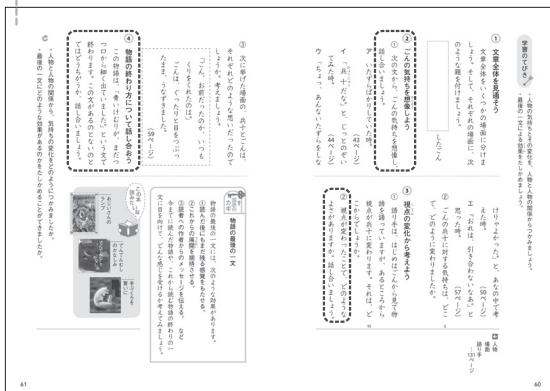
特色 4

対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

対話により、話す力と聞く力を相互に関係づけながら、多様な考えを共感的に受け止めることで、自らの思考の深化や変容を促すとともに、教室内のコミュニケーションを円滑にします。

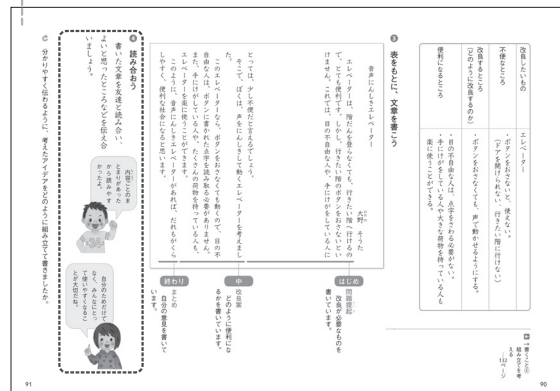
〈話すこと・聞くこと〉の教材のみならず、〈書くこと〉や〈読むこと〉の教材でも、対話的な「学び合い」を通して、互いの理解を深められるようにしています。また、共有の場面は単元の最後だけでなく、学習活動において常に共有を意識することで、自分の思考過程をふり返り、自分の思いや考えを確かめられるようにしています。

物語教材では、読解のプロセスに応じて、適宜考えを共有し、読みを深めていきます。学び合いにより「なるほど!」と納得したり、「どうして?」と考えたりすることが真の理解につながります。



「ごんぎつね」(下巻 P60・61)

書く活動においては、さまざまな過程で話し合いの場を作り、友達のアイデアやアドバイスをもとに、新たな価値を創造したり考えを再構成したりしていきます。



「こんなアイデア、どうかな」(下巻 P90・91)

Ⅱ 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
春のうた	(1)ア, ク	C (1)エ	p①～1	1	
みんなで遊ぼう	(1)ア, イ	A (1)オ	p14～15	2	
白いぼうし	(1)ア, ク	C (1)イ, エ, カ, (2)イ	p16～25	7	
見つけたよ、友達の良いところ	(1)イ, キ	A (1)ア, ウ, エ	P26～27	2	
言葉のいずみ1 漢字辞典の使い方	(2)イ, (3)ウ		P28～31	3	(1)イ
季節のたより(春)	(1)オ, (3)ア		P32～33	1	(1)オ
「百科事典」を使って、調べることを決めよう	(2)イ, (3)オ	C (1)ウ, (2)ウ	P34～35	3	(1)イ, (2)
アメンボはにん者か	(1)ア, カ, (2)ア, イ	C (1)ア, ウ, カ, (2)ア	P36～45	6	
漢字の広場	(1)エ		P46	1	
言葉をつないで文を作ろう1	(1)エ	B (1)エ	P47	1	
新聞を知ろう、作ろう	(1)ア	B (1)ア, イ, (2)ア	P48～51	4	
メモを取りながら聞こう	(1)イ	A (1)エ	P52～53	2	
見学したことを新聞にまとめよう	(1)ア, キ, (2)イ	B (1)ア, イ, エ, オ, (2)ア	P54～61	10	
お礼状を書こう	(1)キ	B (1)イ, エ, (2)イ	P62～63	5	(1)ア
季節のたより(夏)	(1)オ, (3)ア		P64～65	1	(1)オ
手で食べる、はして食べる	(1)カ, (2)イ	C (1)ア, オ, カ, (2)ア	P66～73	6	
文化のちがいを調べよう	(1)ア, カ, (2)オ	B (1)ア, イ	P74～77	8	
自分の意見を組み立てて説明しよう	(2)ア	C (1)オ, カ	P78～83	3	
言葉のいろいろな表情	(1)ア, イ	A (1)オ	P84～85	2	(1)ア
言葉をつないで文を作ろう2	(1)エ	B (1)エ	P86	1	
物語のみかをしようかいしよう ／ポレポレ／読書の部屋	(1)ア, (2)イ, (3)オ	C (1)イ, カ, (2)イ	P87～105	6	
かぼちゃのつるが／ふしぎ	(1)ア, ク	C (1)エ, カ	P106～109	2	
こんなに成長したよ	(1)イ, キ	A (1)ア, イ, ウ	P110～111	2	(1)ア
言葉のきまり1 接続語	(1)ア, カ		P112～113	2	
言葉のいずみ2 漢字のいろいろな読み方・送りがな	(1)ウ, エ		P114～115	2	
文章のまとまりと分かりやすさ	(1)ウ, カ	B (1)イ, エ	P116～117	2	
短歌	(3)ア		P118～123	4	(1)オ
安全マップを作って話し合おう	(1)キ	A (1)ア, オ, (2)イ, ウ	P124～129	6	
言葉をつないで文を作ろう3	(1)エ	B (1)エ	P130	1	

【下巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
水平線	(1)ア, ク	C (1)エ	p①～1	1	
組み合わせた言葉のイメージを楽しもう	(1)ア, オ	A (1)ア, イ	p6～8	3	
空飛ぶふろしき ムササビ ／ムササビがくらす森	(1)カ, ク, (2)ア, イ	C (1)ア, ウ, オ, (2)ア	p9～17	8	
季節のたより(秋)	(1)オ, (3)ア		P18～19	1	(1)オ
ことわざ・故事成語	(2)イ, (3)イ		P20～23	2	(1)オ
「落ち葉」ではなく「落ちえだ」	(1)ア, カ	C (1)ア	P24～27	2	
クラブのしょうかいチラシを作ろう ／身の回りのメディアを研究しよう	(1)ア, キ	A (1)ア, (2)ウ B (1)ウ, エ	P28～33	8	
言葉のいずみ1 熟語の組み合わせと読み方	(1)ウ, オ		P34～37	3	
心に残っていること	(1)ア, キ	B (1)ウ, オ, (2)ウ	P38～39	7	
漢字の広場1	(1)エ		P40	1	
言葉をつないで文を作ろう1	(1)エ	B (1)エ	P41	1	
ごんぎつね	(1)ア	C (1)イ, エ, オ, カ, (2)イ	P42～61	10	
日本各地の短歌	(1)エ, (3)ア		P62～63	2	(1)エ, オ
生活の中に生きている読書／読書の部屋	(3)オ		P64～67	1	
季節のたより(冬)	(1)オ, (3)ア		P68～69	1	(1)オ
ドリームツリーを作ろう	(1)イ, キ	A (1)ア, イ, ウ, エ, (2)ア	P70～77	10	(2)
さわっておどろく	(1)ア, (2)ア	C (1)ア, オ, カ	P78～86	5	
言葉をつないで文を作ろう2	(1)エ	B (1)エ	P87	1	
こんなアイデア、どうかな	(1)カ, キ	B (1)ア, イ, オ	P88～91	10	
言葉のきまり1 形が変わる言葉	(1)ウ		P92～93	2	
言葉のいずみ2 類義語	(1)オ		P94～95	2	
これであなたも作家になれる	(1)ア	B (1)オ, イ, (2)ウ	P96～101	10	
世界でいちばんやかましい音	(1)オ, ク	C (1)イ, オ, カ, (2)イ	P102～119	6	
感謝の気持ちを話そう	(1)イ, キ	A (1)ア, ウ, エ	P120～121	2	
漢字の広場2	(1)エ		P122	1	
言葉をつないで文を作ろう3	(1)エ	B (1)エ	P123	1	
ぼくが ここに	(1)ア	C (1)カ	P124～125	1	
四年生をふり返って	(1)キ	B (1)ア	P126～128	2	

表内の記載は重点項目のみを示しています。

<備考>

・1 知識及び技能

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2)情報の扱い方に関する事項
- (3)我が国の言語文化に関する事項

・2 思考力、判断力、表現力等

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

※には「2 内容の取扱いについての配慮事項」に関するものを示しています。